

## 公益社団法人 淡路納税協会 青年部会

### 第11回「納税協会青年の集い」和歌山大会に参加して

部会長 上村 雄二郎

平成30年11月21日、公益財団法人納税協会連合会青年部会連絡協議会主催による第11回「納税協会青年の集い」和歌山大会に出席して参りました。今回の会場は和歌山県民文化会館並びにホテルアバローム紀の国にての開催でした。第一部式典は、納税協会連合会青年部会連絡協議会副会長の池田氏による開会の言葉に始まり、会長の岩橋氏の挨拶と活動報告、そして納税協会連合会副会長の片山氏による挨拶の後、来賓の大阪国税局長榎本氏、和歌山県知事仁坂氏、最後に和歌山市長の尾花氏より歓迎を込めた挨拶がありました。第二部は租税教育活動の発表が、大阪市内ブロック、京都ブロック、大阪府下、阪神、奈良県、淡路・播磨納税協会とそれぞれの青年部会連絡協議会毎に発表がありました。その後の第三部の講演会は、東洋大学教授そして慶応義塾大学名誉教授をお勤めで、数々の大臣を歴任された竹中平蔵氏による「世界の潮流と日本経済の課題～成長戦略と財政～」と題した講演をいただきました。私は大変失礼ながらお堅い講演になるのかと思いきや、大変楽しい講演でした。講演の内容はビッグデータとAIによって世界の産業が大きく変貌している事をメインに、これからの日本、そして



日本企業の進むべき方向のお話でした。なかなか田舎の中小企業がその話を受けてどうのという事にはなかなか繋がらないかも知れませんが、今やITとかデジタルがどうのというレベルでは、お話にならないくらい技術や考えが進んでいる事を再認識する良い機会となりました。そして最後の第四部の意見交換会は750名を超えるメンバーが集まる中、鏡開きで盛大に始まり、和歌山らしくマグロの解体ショーもあり終始和やかな会となりました。今回も淡路島よりの参加が大変少なかったのですが、また次回の奈良大会には一人でも多くのメンバーで参加できればと思います。

## 淡路地区青色申告部会連合会

### 実務者研修会

淡路市商工会 曾輪 富美子

淡路地区青色申告部会連合会の実務者研修会が、さる11月12日(月)淡路納税協会において、商工会議所・商工会職員が午前午後合わせて32名参加し開催されました。

洲本税務署から講師を迎え、税務についての様々なことを教えていただきました。

まず今年地震・台風等の自然災害に見舞われることも多かったため、災害減免法と雑損控除について説明を受けました。災害により住宅や家財等に損害を受けたときは、確定申告等でどちらか有利な方法を選ぶことによって、所得税の全部又は一部を軽減することができます。

また、今年度より改正されている配偶者控除及び配偶者特別控除の説明においては、毎月の源泉で配偶者控除できる源泉控除対象配偶者、年末調整で配偶者控除される同一生計配偶者と扱いが複雑になっていますので、ご注意ください。

2020年の確定申告より、青色申告特別控除額は65万円

→55万円、基礎控除額は38万円→48万円に変わりますが、e-Taxによる申告(電子申告)又は電子帳簿保存を行うと、引き続き65万円の青色申告特別控除が受けられますので、この機会に電子申告をお進めします。

今回の研修で得た様々な知識について理解し、これからの業務に生かしていきたいと思っております。

